

# 令和3年度 学校・家庭・地域連携サポート事業 地域連携連携担当教職員等研修会

日時：令和3年7月9日（金）13:30～

会場：南会津町 御蔵入交流館 多目的ホール

参加者：33名

## コミュニティスクールへの期待

### 「結論！地域とともにある学校づくりこそ救世主！」

本年度は、元只見町教育委員会教育長 齋藤修様を講師にお招きし、只見町のCS導入のあゆみについて講話をいただきました。

「CS導入への思い」「学校運営協議会設置の悩み」など、導入当時の取組における思いや悩みからは、体制構築最前線の苦勞を知ることができました。



元只見町教育委員会教育長 齋藤修一氏



＜参加者の声＞

- 学校運営協議会を設置することによって、地域の願いを直接聞くことができ、地域を巻き込んだ学校運営や教育活動を行うことがわかりました。
- 導入にいたるまでの熱い思いをお聞きし、CSの重要性を再確認できた。町として設置に向けて働きかけていきたい。
- 実践を聞くことは、大変自分の考えを深めるのに役立ちました。あとは実行あるのみ。

## グループ協議

### 「CS 導入について その諸課題」 (地教委担当者グループ)

### 「地域人材・企業リストの活用について」(連携担当教職員グループ)

＜参加者の声＞

- 各町村の状況を理解できた。予算や補助金の関係もあり、どのように取り組んでいくのか共通理解が図られた。今ある会議や参集メンバーの住み分け等考えていかなければならないことがわかった。(教委)
- 導入に向けた課題について、同じような悩みがあると同時に、異なる状況があることがわかった。(教委)
- 中学校区で情報交換できたことで、次年度以降、自校でお願いしたい方をリストアップすることができて有益でした。(学校)
- 近隣の学校の情報を聞き本校でも活用できるものがありました(学校)
- 地教委で人材バンクを設立して、マッチングで学校と人材や施設との仲をとりもってもらえるとよい。(学校)
- GIGA スクール構想を進めるにあたり、(ICT 関係で)先頭に立って計画していただける人材が望まれる。(学校)



関係者の皆様、参加いただきありがとうございました。活発な協議にも感謝いたします。

今後とも、子供たちと地域のためのコミュニティ・スクール導入に向けて一層の御協力をお願いします。